

第5空母航空団の機種更新について

令和6年8月

防衛省

外務省

第5空母航空団の機種更新について

概要

- 日本に配備する空母のロナルドレーガンからジョージワシントンへの変更に伴い、第5空母航空団の部隊を次のとおり更新する旨の連絡あり。
 - 4つの戦闘攻撃飛行隊のうち1個飛行隊について、F/A-18スーパーホーネットの飛行隊からF-35Cの飛行隊に更新
 - C-2輸送機の飛行隊からCMV-22オスプレイの飛行隊に更新
- 岩国飛行場の人数に大きな変更はない。
- 施設について、新規の建設は予定していない。

運用に係る影響

- 岩国飛行場に所在する航空部隊の任務や平素の活動に変更はない。
- 米海軍は、更新後の運用について、従来通り、既存の二国間合意や騒音軽減措置などの地元に対するあらゆる努力及び配慮を引き続き遵守することとしている。



第5空母航空団の機種更新について

- F-35Cは、いわゆる「第5世代戦闘機」として区分されるF-35戦闘機のうち、艦載型のもの。
- エンジン、STOVL機※であるF-35Bと異なり、通常の固定翼機であるF-35Aと同等。

※ 短距離離陸・垂直着陸が可能な戦闘機

機種名	F/A-18E	F-35C
		
最大速度	M1.8	M1.6
最大高度	約50,000ft	約50,000ft
エンジン(推力)	F404-GE-402(17,700lb) 2基	F135-PW-100(43,000 lb) 1基
全幅	約 13.62m	約 13.1m
全長	約 18.5m	約 15.6m
全高	約 4.88m	約 4.48m
最大離陸重量	約 29,937kg	約30,322kg

出展 : Jane's Year Book, Northrop Grumman社

騒音について

騒音の測定については、航空機の飛行状況、測定器材、気象条件等の要因に左右されるため、一概に比較することは困難であるものの、公表されている情報によれば、最大騒音レベルは右表のとおり。

	F/A-18E	F-35C
離陸時※1	約 1 1 3 d B	約 1 1 3 d B
着陸時※2	約 1 0 3 d B	約 9 2 d B

※1 : アフターバーナー使用 1 0 0 0 f t

※2 : 1 5 0 0 f t

第5 空母航空団の機種更新について

- CMV-22は、C-2Aと同様に、空母と他の場所との間の物資や人員の航空輸送を実施する。
- CMV-22はMV-22やCV-22と機体構造及び基本性能については同一。輸送業務に適した拡声装置や照明の改良が施されているほか、最大搭載燃料を増やすことにより長い航続距離を有している。

機種名	C-2A	CMV-22
		
巡行速度	約465km/h	約498km/h
最大高度	約10,000m	約7,620m
エンジン(推力)	Allison T-56-A-425 (3,661kW) x2	Rolls-Royce Liberty AE1107C (4,623kW) x2
全幅	約24.7m	約25.6m
全長	約17.4m	約17.5m
全高	約5.2m	約6.7m
最大離陸重量	約26,080kg	通常離陸 約25,855kg 垂直離陸 約23,859kg

出展 : Jane's Year Book, Northrop Grumman社